

# 「避難勧告」と「避難指示」は「避難指示」に一本化 「警戒レベル4」で危険な場所からの避難が必要です

本年5月20日に改正災害対策基本法が施行され、「避難勧告」と「避難指示」は、「避難指示」に一本化されました。今後は、大雨等の災害発生のおそれが高い状況で、町から警戒レベル4の「避難指示」が発令された場合、危険な場所にいる方は避難が必要です。

ただし、自宅の位置が馬場目川の想定浸水深2.0m未満で2階がある場合は、屋内の2階以上へ避難する「垂直避難」、2.0m未満でも家屋倒壊等氾濫想定区域内に自宅がある場合や2.0m以上では、屋外の安全な建物等へ避難する「立ち退き避難」となります。

## (1) 洪水・土砂災害

新しい避難情報

これまでの避難情報等

警戒レベル	避難情報	状況	とるべき行動	避難情報
5	緊急安全確保※1	災害発生または切迫	命の危険 直ちに安全確保！	災害発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>				
4	避難指示※2	災害のおそれ高い	危険な場所にいる 人は全員避難	避難指示（緊急） 避難勧告
3	高齢者等避難※3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	避難準備・高齢者等避難開始

※1 町が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。  
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。  
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の方も必要に応じて避難の準備をするなど、危険を感じたら自主的に避難する目安としています。

## (2) 津波

新しい避難情報

これまでの避難情報等

警戒レベル	避難情報	状況	とるべき行動	避難情報
1	避難指示	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示（緊急）

※津波は切迫状況が段階的に上がる性質のものではないため、警戒レベルは廃止となりました。

お問い合わせ 町住民生活課 (☎852・5112)

## (大学卒一般行政) 町職員採用試験を行います

町では、令和4年度採用の職員採用試験を行います。試験の概要は次のとおりです。

### ▶採用予定人数と受験資格

#### ・大学卒一般行政 若干名

- ア 平成4年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた方
- イ 平成12年4月2日以降に生まれた方で大学卒または令和4年3月卒業見込みの方

### ▶給与

- ・大学卒初任給 182,200円（原則として）  
（給与条例により各手当を支給します）

### ▶一次試験日時・会場

- ・令和3年7月11日(日) 午前9時受付開始
- ・秋田県市町村会館（秋田市）

※一次試験は「秋田県市町村等職員採用統一試験」として、秋田県町村会に委託し実施します。

### ▶試験の方法

- ・一次試験（教養試験・検査（性格特性検査））
- ・二次試験（口述試験・作文・身体検査）
- ※二次試験は、8月上旬～9月上旬に行う予定です。
- ・資格調査

### ▶受験申込の受付期間

- ・5月26日(水)～6月16日(水)

### ▶問い合わせ、申込書請求、受験申込先

〒018-1792 五城目町西磯ノ目一丁目1番地1  
五城目町役場総務課 (☎852・5332)

※詳細は、町ホームページに掲載しています  
(<https://www.town.gojome.akita.jp>)

## 叙勲

このほど、令和3年春の叙勲で千田峯夫さんが旭日双光章を、川島善道さんが瑞宝双光章を、藤井好春さんが瑞宝単光章を受章されました。おめでとうございます。

### 旭日双光章 地方自治功労

千田 峯夫さん(85歳、岡本二区)



千田さんは、昭和51年の初当選以来、令和2年までの合計7期28年間に、町議会議員として町政の審議に参画されました。この間、昭和55年から文教社会常任委員長を務められ、平成16年からの4年間は、議長として議会の円滑な運営に努め、本町の自治振興に多大な貢献をされました。

千田さんは、「旭日双光章の栄に浴し、身に余る榮譽は行政をはじめ、町民の皆様方の心からの指導・鞭撻のたまものと存じ、深く感謝申し上げます。今後はこの誉れに恥じないよう一層の精進をし、微力ながらも社会に貢献したい所存でありますので、今後ともご芳情を賜りますようお願い申し上げます」と、お話ししていました。

### 瑞宝双光章 更生保護功労

川島 善道さん(75歳・水沢)



川島さんは、昭和56年から保護司を務め、犯罪や非行をした人に対する保護観察活動や、町や関係団体と連携し、犯罪や非行の防止を広く呼びかける「社会を明るくする運動」などの各種活動に当たられてきました。

その間、平成29年5月から令和3年4月までは湯上湖東地区保護司会会長を、令和元年6月からは県保護司会連合会副

会長を務められるなど、犯罪のない明るい地域社会づくりに尽力されています。川島さんは、「周囲からの推薦で保護司を拝命し、以来38年間に、当たり前のことと当たり前に行ってきた。振り返ってみると、さまざまな出会いの中で多くの学びがあったように感じています」と、お話ししていました。

### 瑞宝単光章 消防功労

藤井 好春さん(70歳・野田)



藤井さんは、昭和56年から令和2年までの38年間に、町消防団団員(第4分団)を務められました。

その間、分団長、町消防団副団長などを歴任されました。平成30年からは町消防団長として、卓越した消防知識をもって消防団の運営にあたり、組織の充実強化、人材育成、消防施設の整備、団員の確保に努め、町消防団の発展に尽力され

ました。

また、平成25年には消防庁長官から永年勤続功労章が贈られています。

藤井さんは、「今回の叙勲は身に余る光栄。受章することができたのは、家族をはじめ消防の先輩方や地域の消防団の方々からの支えやご指導があったからこそです。皆さんには心から感謝しています」と、お話ししていました。